

学校支援本部ってなんだろう新聞

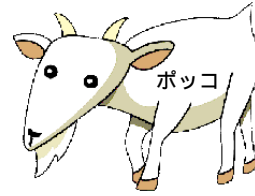
平成26年7月4日発行

発行：杉並区学校支援本部運営懇談会

(事務局)杉並区教育委員会事務局学校支援課

杉並区阿佐谷南1-15-1 TEL 3312-2111(内)1643

Eメール gakko-sien@city.suginami.lg.jp



第七号

学校支援本部ってなんだろう新聞の発行にあたって
「学校支援本部」とは、学校を支えるボランティア活動を組織化して、より効果的に子どもたちの学びを支える仕組みです。杉並区では、全小中学校にあり、学校の要望に応じて授業支援や学習環境の整備等にあたっています。より多くの区民の皆様へ「学校支援本部」のねらいと取組をご理解いただき、協力の輪が広がっていくことを願って、年三回、この新聞を発行しています。本部関係者のほか、教職員、保護者の皆様へ配布しています。増刷大歓迎です。皆さまからの、ちょっとイイ話、困りごと、提案なども、お寄せください。

「土曜授業」始まる！！

平成26年度から杉並区立の全小中学校において、「土曜授業」を開始しました。地域や保護者と学校が一体となった多様な教育を、ダイナミックに展開していきます。第七号では、地域と連携した各校の授業(土曜を含む)支援の取組をご紹介します

天沼小学校：茶道「野点」授業

4月26日、昨年度末から準備してきた土曜授業の初日を迎えました。

澄み渡る青空のもと、緑の芝生に真っ赤な毛氈(もうせん)を敷いて6年生が茶道「野点」授業を行いました。茶道の先生のお点前を児童が真剣なまなざしで見つめています。土曜日ということもあり、多くの保護者がサポーターとしてお手伝いに入り、一体感のある授業となりました。



天沼小学校では、「地域の先生」による授業の多くを土曜授業で行おうと考えています。その一つである茶道の体験授業は、普段は校舎内にある和室を使いますが、6年生は校庭の芝生で野点を楽しみます。学校・地域コーディネーターはこの授業のためにいろいろな準備をしています。担任の先生とゲストティーチャーとをつなぐ窓口として日程調整や授業内容の確認をし、保護者サポーターへの連絡なども行います。また、当日の準備は用務主事と相談しながら進めています。関わりのある全ての人と人との間をつなぎ、より良い授業が進められるように支えていくのが学校・地域コーディネーターの役割であり、また、それが活動の醍醐味であると感じています。

(天沼小学校支援本部(あまぬまワンダラーズ):学校・地域コーディネーター:篠原 永津子さん)

荻窪中学校：『夢ネット』コミュニケーションタイム

「コミュニケーション力を育てる」ことを目的に、前年度から学校と学校運営協議会、荻中学校支援委員会がPTAと協力して土曜授業を実施していくことを確認していました。普段から地域での活動でつながっている方にもお声かけをし、生徒と大人が小グループでお互いに質問し合う形式で行いました。地域と学校との協働の姿を実現させ、その場を共通イメージとして次につなげようという初の試みでした。

「中学生と話す」という機会に関心をもってくださった方々や、「なんだかよく分からないけど…」と言いながらも快諾してくださった方など、35人の方が参加していただきました。生徒や先生方は、『こんなにたくさんの方がご協力下さるのか』と驚いていました。また、ご参加下さった地域の皆様には、今後の支援のため支援委員会への参加登録をしていただきました。

5月は「社会人マナー講習」、6月は生徒とのグループセッションと続きます。これからも地域の大人と中学生が語り合える場をコーディネートしていきたいと考えています。

(荻中学校支援委員会:学校・地域コーディネーター:高橋 優子さん)



まだまだ続きます！！～学校支援本部の授業支援紹介～

浜田山小学校：グリーンカーテン

浜田山小学校では、環境学習として5年総合授業で、毎年緑のカーテンを育てています。

土づくり授業の講師として高井戸の農家の方、カーテンの効果調べる授業の講師としてミサワホームの方々をお呼びしています。花壇のネット張り、ゴーヤ麵づくりの指導には、地域のプロの方に関わって頂きました。

12月開催のエコプロダクツには出展・発表をするため、東京ビッグサイトへの搬入・ブースのご案内・搬出は支援本部で引き受けています。授業のお手伝いやエコプロダクツ同行には、支援本部で5年生の保護者サポーターを募集し、配置しています。

5月に花壇の土づくりをサポートされた保護者は「土も我が子のように愛おしい、今後は楽しみ」とのこと。6月の学校公開の日で土曜授業に定植を行いました。今年度は地域の方に緑のカーテンを発信しようと提案し、用意された子どもたちが作ったゴーヤの苗150株は、子どもたちの手で手渡されました。

(浜っこ支援本部：

学校・地域コーディネーター：今井 英紗子さん)



井草中学校：「保育体験」「福祉体験」等の地域支援授業

平成18年度に発足した井草中学校支援本部の地域支援授業をご紹介します。3年家庭科で24組の赤ちゃんとお保護者をお招きする「保育体験授業」、3年総合的な学習の時間で福祉系12団体参加の「福祉体験授業」、2年総合的な学習の時間で地域の方を講師としてお招きし、コミュニケーションとマナーを学ぶ「職場体験前社会人講座」、1年音楽の「お琴教室」などがあります。

開催の2ヶ月以上前から担当の先生と何度も打ち合わせをし、授業内容の確認や事前学習の段取りなどを伺い、学校側が考える理想的な授業が行える講師、協力団体を探します。



講師の方には、授業のねらいや目的を正確にお伝えし、理解して頂いた上で参加して下さいるように連絡、調整をしています。そして、講師の方々がまた井草中に協力したい、生徒に会いたいと思っていただけるように、おもてなしの心をもってコーディネートを行っています。

(井草中学校学校支援本部 “ ”：

学校・地域コーディネーター：植松 照美さん)

学校支援本部運営懇談会「検証部会」報告

6月17日(火)、平成25年度の活動を素材に検証作業を行いました。今後の活動推進に向け、検証作業にあたった方々から次のような意見が出されました。

- ・地域人材を活用した授業支援が豊かな教育活動につながっているが、6校が未実施だった。土曜授業の開始など必要性がますます高まるので、学校と支援本部で十分検討してほしい。
- ・核家族では体験が難しい「赤ちゃんふれあい授業」、「高齢者から伝統文化を学ぶ授業」や「小中連携」など様々な活動が行われ、異世代間の交流・連携が進んでいる。
- ・活動が充実することで、本部員やボランティアが不足しているが、卒業生や保護者や地域の協力など世代を超え新しい仲間づくりが新たな活動の活力につながるのではないかと。

活動内容の成果と課題を検証することは、次の取組をより良くすることにつながる。学校・地域コーディネーターを中心に今後も本部の活動の充実を目指したい。

研修会の予定

詳細は別途通知します。

分区連絡学習会(後期)

中学校支援本部

11月17日(月) 14:00～16:00

会場：杉並区役所

小学校第3・4分区支援本部

11月21日(金) 14:00～16:00

会場：西荻地域区民センター

小学校第5・6分区支援本部

12月4日(木) 14:00～16:00

会場：高井戸地域区民センター

小学校第1・2・7分区支援本部

12月12日(金) 14:00～16:00

会場：産業商工会館

学校・地域コーディネーター スキルアップ研修会

9月4日(木) 10:00～12:00

会場：セシオン杉並